

富山県民会館リニューアルオープン・開館50周年記念事業

日本の至宝～京舞・能～

多彩で華やかな京舞と観世流の名門 片山家による能の世界

「富山彩る京の賑わい」(京舞)〈井上八千代 監修〉

平成28年 1月31日(日) 午後2時開演 (午後1時開場) 富山県民会館 ホール



倭文



芸舞妓の舞台

第1部 京舞

- 地唄 倭文 井上 八千代
- 上方唄 梅の花 祇園甲部芸妓
真生 有佳子 槇子 佳つ菊
- 地唄 長刀八島 井上 安寿子
- 富山彩る京の賑わい 祇園甲部芸舞妓
豆千鶴 真生 有佳子 槇子 佳つ菊
佳つ雛 市十美 知余子 佳つ江

【地方】小ます 恵美二 小桃 だん佑 ます穂 小恵美
 【倭文囃子】笛：斗美千代 小鼓：まめ鶴 大鼓：小萬 太鼓：まめ弥
 【囃子】藤舎 清鷹

第2部 能

- 一調 勸進帳 観世 鏡之丞 吉阪 一郎
- 能 舍利 片山 九郎右衛門



舍利

入場料(全席指定)〈当日各500円高〉

一般 4,500円
 児童・生徒 (高校生以下) 1,500円

チケット発売：平成27年11月3日(火・祝)午前10時から

プレイガイド：アーツナビ(富山県民会館、富山県教育文化会館、富山県高岡文化ホール、新川文化ホール)、
 富山大和、高岡大和、ローソン(Lコード55455)、チケットぴあ(Pコード447-476、
 サークルK・サンクス、セブン-イレブン) ※児童・生徒券は、アーツナビのみ取扱います。

●出演者、演目及び演目順は変更となる場合がございます。本公演は、「都をどり」ではありませんのでご了承願います。
 ●未就学児の入場はご遠慮願います。公演中の一時保育を希望される方は、公演日の2週間前までに
 お申込みください。(無料)

- 主催／公益財団法人富山県文化振興財団
- 共催／富山県、富山新聞社、富山テレビ放送
- 後援／一般社団法人富山県芸術文化協会
- 助成／芸術文化振興基金

お問合せ／公益財団法人富山県文化振興財団 富山県民会館
 〒930-0006 富山市新総曲輪4番18号
 TEL 076-432-3115(平日)、076-432-3111(土日祝)



芸術文化振興基金助成事業

公演前のひととき、県民会館でのランチタイムをお楽しみください。

本公演の入場券をお求めの方に限り、富山の旬の素材を活かした特製昼食券をご購入いただけます。
 日時：平成28年1月31日(日) 11:30～13:30 限定会場
 会場：富山県民会館8階
 富山電気ビルレストラン バンケットホール
 購入方法：本公演の入場券をご提示のうえ、アーツナビ窓口でお求めください。

60食限定
 特製昼食券
 「和の旬彩」
 2,000円



○主な出演者プロフィール



井上 八千代 (いのうえ やちよ)

京舞井上流五世家元。観世流能楽師片山幽雪(九世片山九郎右衛門・人間国宝)の長女として京都に生まれる。祖母井上愛子(四世井上八千代・人間国宝)に師事。1959年井上流入門。1970年井上流名取となる。1975年学校法人「八坂女紅場学園」(祇園女子芸芸学校)の舞踊科教師になる。1999年芸術選奨文部大臣賞、同年、日本芸術院賞受賞。2000年五世井上八千代を襲名。2013年紫綬褒章を受章。日本芸術院会員。2015年重要無形文化財各個指定(人間国宝)認定。



井上 安寿子 (いのうえ やすこ)

1988年能楽観世流九世観世鏡之丞と京舞井上流五世家元井上八千代の長女として京都に生まれる。2歳より稽古を始め、四世及び五世井上八千代に師事。3歳で「四世井上八千代米寿の会」にて初舞台(上方唄「七福神」)。2006年井上流名取となる。2011年京都造形芸術大学卒業。2013年井上安寿子主催の舞踊公演「葉々の会」を発足。同年、第50回なにわ芸術祭新進舞踊家競演会において新人賞受賞。



片山 九郎右衛門 (かたやま くらうえもん)

観世流能楽師シテ方。1964年生まれ。片山幽雪の長男。祖母は京舞井上流四世家元井上八千代、姉は五世家元井上八千代。父および八世観世鏡之丞(人間国宝)に師事。片山定期能楽会を主宰。全国各地での公演や海外での公演の他、学校での公演、「能の絵本」の制作、能舞台のCG化など若年層のための能楽の普及活動も手掛ける。文化庁芸術祭新人賞、京都府文化賞功労賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞等受賞多数。公益社団法人京都観世会会長、公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団理事長。2011年に十世片山九郎右衛門を襲名。重要無形文化財総合指定保持者。



観世 鏡之丞 (かんぜ てつじょう)

観世流能楽師シテ方。1956年生まれ。八世観世鏡之丞の長男。伯父観世寿夫、および父に師事。4歳で初舞台。2002年九世観世鏡之丞を襲名。鏡之丞家の当主として、また鏡仙会の棟梁として、これからの能界を担う存在として期待されている。また、海外公演や他ジャンルとのコラボレーションなど古典を越えた世界でも幅広く活躍。2008年度日本芸術院賞受賞。2011年紫綬褒章受章。重要無形文化財総合指定保持者。



都をどりの舞台

祇園甲部 (ぎおんこうぶ)

現在、京都には五つの花街があり、祇園甲部は、その代表的な花街として知られている。「祇園さん」と呼ばれている八坂神社の門前町として栄え、現在でも江戸時代の茶屋建築の面影を残す風情ある街並みが独特の情緒を形作っている。祇園甲部の芸妓・舞妓の舞は全て京舞井上流で、春に「都をどり」、秋には「温習会」の公演を行います。



富山県民会館 〒930-0006 富山市新総曲輪4-18

TEL(076)432-3111 FAX(076)432-2024

JR富山駅より徒歩約10分

東京から 北陸新幹線(最速約2時間10分)

長野から 北陸新幹線(最速約45分)

名古屋から 特急しんさぎ~北陸新幹線(約3時間30分)

特急ひだ(約4時間)

大阪から 特急サンダーバード~北陸新幹線(約3時間20分)

●駐車場には限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

○京舞と能公演について

代々の片山九郎右衛門は明治期に至るまで「禁裏御能」と呼ばれる天皇が主催される能に奉仕するという大役を担っていました。京舞井上流は、寛政年間に近衛家の舞指南役を勤めた初世井上八千代によって宮廷文化を基盤に創始されました。この二つの異なる芸能が、片山家という一つ屋根の下で今日まで育まれてまいりました。京舞と能の競演という片山家ならではの公演をお楽しみ下さい。

○演目について

第一部京舞では、井上八千代が「倭文(やまとぶみ)」を、井上安寿子が「長刀八島」を舞います。「やまとぶみ」は「日本書紀」の別称「日本紀」の読み。天照大神の岩戸開きの故事における天鈿女命の舞で、京舞井上流に伝承されているものです。毎年1月7日に行われる祇園女紅場の始業式で家元が舞うしきたりで、たいへん格式のあるものといえます。「長刀八島(なぎなたやしま)」は能「屋島」に取材した本行物。四世井上八千代の名演により京舞井上流の代表作となった作品です。また、祇園甲部の芸妓・舞妓が「梅の花」「富山彩る京(みやこ)の賑わい」で舞台を華やかに盛り上げます。今回の公演のために、特別に井上八千代が振り付けをした舞の披露もあり目が離せません。

第二部能では、観世流片山家十世の片山九郎右衛門が「舍利(しゃり)」を舞います。京都の泉涌寺を舞台に、寺の宝である「舍利」をめぐる、足疾鬼(そくしっき)という鬼と韋駄天(いだてん)という神様が繰り広げる壮大な古典ファンタジー。息をもつかせぬ両者の攻防が見ものです。また、観世鏡之丞が一調「勸進帳」で出演。京舞の「長刀八島」とともに平家物語の世界を表現します。